

## 「当院でのすい臓がんの手術治療成績の解析」について

当科では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で審査され病院長の承認を受けています。

### <研究の背景・意義>

当院は京都西北地区のがん診療連携拠点病院であり、豊富な外科症例数を誇っています。膵臓がんは予後不良な疾患であり、近年更なる成績向上のために集学的治療の必要性が言われています。当院では以前から術前の化学放射線療法を行っていますが、先端放射線治療機 Ver04DRT の導入により IMRT や追尾照射を含めた集学的術前治療を 2016 年から開始し、多くの患者さんに治療を行っています。当院での膵臓がん患者さんの集学的治療成績を集積し解析することで、新たな知見を得ることを目標としてこの研究を計画しました。

### <研究の目的>

当院での膵臓がん患者さんの集学的治療成績を集積し解析することで、新たな知見を得ることを目的としています。

### <研究責任者・研究組織>

研究責任者：京都桂病院 消化器センター外科 医長 岡村 裕輔

### <対象となる患者さん>

2013年以降当院ですい臓がんに対し手術を受けた患者さん

<研究期間>2029年12月31日までを予定しています。

### <研究の方法・使用する項目など>

年齢、お体の一般状態、治療歴、合併症、膵癌の病期・病理所見などに関するデータ、血液データ（腫瘍マーカー、HbA1c、血算数など）、併用療法、CT/MRI などの画像所見データ、有害事象、自覚症状の変化などの情報を収集します。

### <個人情報の取り扱い>

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。

### <研究成果の発表について>

研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報漏れることはありません。プライバシーは守られます。

<データ提供による利益と不利益>

研究に参加されなくても今後の診療を受けるうえで不利益はありません。この研究は過去の診療録などの情報を用いた観察研究です。研究に参加された場合、患者さんに対して利益・不利益のどちらも発生することはありません。予定外の治療や検査、薬が追加されることもありません。

<データ利用の拒否と中止>

診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先にお申し出ください。この研究から除外します。その場合でも今後の診療を受けるうえで一切の不利益はありません。

<本研究の資金源（利益相反）>

ありません。

<問い合わせ先>

本研究に関するご質問等がありましたら担当医師まで問い合わせ下さい。

問い合わせ先

京都桂病院

京都市西京区山田平尾町 17 番地

TEL：075-391-5811(代表)

責任医師：消化器センター外科 医長 岡村 裕輔